



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 エブレン株式会社
 コード番号 6599 URL <https://ebrain.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 上村 正人
 (氏名) 田中 猛
 TEL 042-646-7171

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,384	1.1	215	3.0	218	9.5	149	6.7
2020年3月期第3四半期	2,411		222		241		159	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 150百万円 (1.4%) 2020年3月期第3四半期 152百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	101.90	
2020年3月期第3四半期	117.04	

(注) 1. 2019年度3月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第3四半期の対前年四半期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	4,502	3,393	75.4
2020年3月期	4,197	3,087	73.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 3,393百万円 2020年3月期 3,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		15.00	15.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,374	6.0	337	19.1	314	3.5	207	3.3	140.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	1,536,000 株	2020年3月期	1,536,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	27,026 株	2020年3月期	169,900 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	1,463,261 株	2020年3月期3Q	1,366,100 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、中国では経済の回復が見られるものの、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響により経済活動が抑制され、厳しい状況が続いています。また、米中貿易摩擦につきましても米国の大統領選挙の影響等により先行きが見通しにくい状況が続いております。

我が国経済は、国内外の需要回復の動きを受け一部持ち直しの兆しは見られるものの、新型コロナウイルス感染症の第三波と見られる再拡大に対しては、今のところ終息時期の見通しは立っておらず、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループにおける営業品目の応用分野別の概況は、電気計測器・交通関連装置分野以外は、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少しました。

一方で当社の主力である電気計測器分野における半導体製造装置市場は、新型コロナウイルス感染症の影響もなく、大手半導体メーカーの次世代プロセス関連の設備投資が好調に推移しております。今後、韓国、日本、米国のメモリー向けの半導体製造装置の設備投資が本格化するため、通期での新型コロナウイルス感染症の影響は軽微と想定しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高2,384百万円（前年同四半期比1.1%減）、営業利益215百万円（前年同四半期比3.0%減）、経常利益218百万円（前年同四半期比9.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は149百万円（前年同四半期比6.7%減）となりました。

通信機器

当分野は、放送・通信・電力関連機器の制御部を開発・製造・販売しております。新型コロナウイルス感染症の影響により、設置工事ができず入札延期等が発生したため、一部の顧客で来期以降に納入が延期されました。当期間の売上高は前年同四半期比113百万円（28.6%）減の282百万円となり、売上構成比率は前年同期の16.4%から11.8%へ減少しました。

電子応用装置

当分野は、HPC（スーパーコンピュータ）、医療関連機器の制御部を開発・製造・販売しております。新型コロナウイルス感染症による入院患者数の増加により、病院の収益が悪化し、高額な医療装置への投資が先送りとなり、来期以降に納入が延期されました。当期間の売上高は前年同四半期比59百万円（24.0%）減の189百万円となり、売上構成比率は前年同期の10.3%から8.0%へ減少しました。

電気計測器

当分野は、当社の主力である半導体関連装置・検査装置・FA（ファクトリーオートメーション）関連装置の制御部を開発・製造・販売しております。メモリー関連や5ナノメートル（nm）プロセスへの設備投資が増加しました。当期間の売上高は前年同四半期比169百万円（14.7%）増の1,324百万円となり、売上構成比率は前年同期の47.9%から55.5%へ増加しました。

交通関連装置

当分野は、鉄道・信号・ITS（高度道路交通システム、ETC等）関連の制御部を開発・製造・販売しております。ITS関連が、新型コロナウイルス感染症の影響により、入札や設置工事の延期となりましたが、一部の鉄道・信号関連メーカーで特需が発生しました。当期間の売上高は前年同四半期比24百万円（5.6%）増の469百万円となり、売上構成比率は前年同期の18.4%から19.7%へ増加しました。

防衛・その他

当分野は、防衛用のレーダーや通信機器の制御部を開発・製造・販売しており、当期間の売上高は前年同四半期比48百万円（29.0%）減の118百万円となり、売上構成比率は前年同期の6.9%から5.0%へ減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて305百万円増加し、4,502百万円となりました。各区分の主な増減要因は以下のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて293百万円増加し、3,231百万円となりました。増加要因としては、2020年6月29日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）への上場時に、公募による自己株式の処分の手取額177百万円の入金等があり、現金及び預金が194百万円増加しました。また、原材料及び貯蔵品91百万円、仕掛品33百万円の増加であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、12百万円増加し、1,271百万円となりました。増加要因としては、18百万円のディスペンサー装置の購入により、有形固定資産が14百万円増加しました。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて1百万円減少し、1,109百万円となりました。減少要因としては、未払法人税等36百万円、その他（未払消費税等）34百万円、長期借入金29百万円、賞与引当金27百万円の減少であります。増加要因としては、支払手形及び買掛金69百万円、短期借入金18百万円の増加であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて306百万円増加し、3,393百万円となりました。増加要因としては、東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）上場時の自己株式処分に伴う自己株式の減少等136百万円、資本剰余金の増加40百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益149百万円であります。減少要因としては、配当金20百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.9%上昇し、75.4%になりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が当社グループの業績に影響を及ぼす可能性はありますが、現時点の状況から2020年6月29日の「東京証券取引所JASDAQへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、新型コロナウイルス感染症拡大が当社グループの業績に重大な影響を及ぼす事象が確認された場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,292,927	1,487,663
受取手形及び売掛金	593,528	600,040
電子記録債権	253,484	228,611
商品及び製品	165,276	160,169
仕掛品	162,942	196,784
原材料及び貯蔵品	414,559	506,094
その他	56,058	52,679
貸倒引当金	△569	△638
流動資産合計	2,938,207	3,231,405
固定資産		
有形固定資産		
土地	711,239	711,239
その他(純額)	180,584	195,189
有形固定資産合計	891,824	906,429
無形固定資産	8,524	6,351
投資その他の資産	359,042	358,778
固定資産合計	1,259,391	1,271,558
資産合計	4,197,598	4,502,963

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	470,016	539,067
短期借入金	16,000	34,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払法人税等	56,844	20,581
賞与引当金	43,713	16,115
受注損失引当金	1,317	359
その他	98,761	87,328
流動負債合計	726,650	737,449
固定負債		
長期借入金	50,015	20,018
役員退職慰労引当金	186,523	193,355
退職給付に係る負債	147,384	158,214
固定負債合計	383,922	371,587
負債合計	1,110,572	1,109,036
純資産の部		
株主資本		
資本金	143,010	143,010
資本剰余金	96,257	136,999
利益剰余金	2,991,143	3,119,758
自己株式	△162,574	△25,981
株主資本合計	3,067,835	3,373,787
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,739	3,340
為替換算調整勘定	17,450	16,799
その他の包括利益累計額合計	19,190	20,139
純資産合計	3,087,025	3,393,926
負債純資産合計	4,197,598	4,502,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	2,411,971	2,384,907
売上原価	1,915,833	1,877,828
売上総利益	496,137	507,079
販売費及び一般管理費	273,736	291,398
営業利益	222,400	215,680
営業外収益		
受取利息	423	245
受取配当金	62	829
保険解約返戻金	14,564	3,052
助成金収入	652	2,486
その他	3,607	580
営業外収益合計	19,309	7,194
営業外費用		
支払利息	468	350
為替差損	—	646
株式公開費用	—	3,489
その他	1	—
営業外費用合計	470	4,486
経常利益	241,239	218,388
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	241,239	218,388
法人税、住民税及び事業税	70,003	64,249
法人税等調整額	11,352	5,032
法人税等合計	81,356	69,281
四半期純利益	159,883	149,106
親会社株主に帰属する四半期純利益	159,883	149,106

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	159,883	149,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	568	1,601
為替換算調整勘定	△8,279	△651
その他の包括利益合計	△7,711	949
四半期包括利益	152,172	150,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152,172	150,056

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2020年6月29日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場いたしました。上場に当たり、2020年6月28日を払込期日とする公募による自己株式の処分を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が40,742千円増加、自己株式が136,593千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が136,999千円、自己株式が△25,981千円となっております。